



環境にやさしい環境保全型農業の先進地

高山村は、人と自然にやさしい環境保全型農業に、いち早く取り組んできた全国有数の先進地です。はじめは昭和五十七年、地力増進施設を開設し、村内の家庭や事業所から出る生ゴミなどを発酵させて良質な有機堆肥をつくる取り組みでした。当初は、ビニールなどの異物が混ざっていたり、堆肥づくりの技術面での問題など、さまざまな困難がありましたが、村民のみならず一人ひとりの理解と協力を得て改善され、現在では年間約六〇トンもの良質な堆肥「フクイハラコンボ」が村内の農家に提供されています。

もつひとつの特徴は、平成三年から始まった人工フェロモンを利用する減農薬栽培の取り組みです。これは害虫のメスが出す性フェロモンを人工的につくって果樹園に設置することで、害虫の交尾を妨害し、発生を抑制する防除方法です。安全で安心、おいしい高山村の農産品づくりに貢献しています。今、高山村は環境にやさしい先進的農業を実践する農の里として全国の注目を集めています。これからはさらにもっと先駆的な技術や取り組みを進めようとしています。

水と大地の恵みを活かして。環境にやさしい農の里



エコファーマー認定書交付式

エコファーマー認定農家の多さは、安全で安心な高山ブランドの証です。

エコファーマーは、平成十一年七月に制定された「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律（持続農業法）」に基づいて設けられた認定農業者制度です。つまり環境にやさしい農業生産を担うのが「エコファーマー」。

高山村では、りんご農家、米生産農家を中心に、平成十八年度までに二八二名の農業者が県知事による認定を受けています。これは、長野県内では中野市に次いで二番目の認定者数となっています。

高山村では、安全で安心な高山村の農産物を広く消費者の皆様に理解していただくため、エコファーマー認定の取得支援を積極的に進めています。

エコファーマーマーク

